

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KV-25SF1
KV-29SF1
KV-34SF1

目次

テレビ、衛星放送を見る	2
ビデオなどを見る	4
有料の衛星放送を見る	5
16:9の画像を見る(ワイドモード).....	6
画質 / 音質を調整する	7
衛星放送を録画する	11
音声を切り換える	13
時計を使う	14
地磁気による画像の傾きを補正する	15

操作編

準備早わかり	16
テレビアンテナをつなぐ	18
チャンネルを自動設定する	20
10キー選局にする	22
BSアンテナをつなぐ	24
BS受信の設定をする	25
BSデコーダーをつなぐ	27
MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ ...	28
接続端子について	29
ビデオデッキをつなぐ	30
その他の機器をつなぐ	32

準備編

故障かな？と思ったら	33
自己診断表示	
- 画面が消え、スタンバイ / スリープランプが点滅したら	34
保証書とアフターサービス	35
主な仕様	36
用語集	37
各部の名前 / Identification of controls	38
索引	40

その他

この取扱説明書は、左記の3機種共通です。

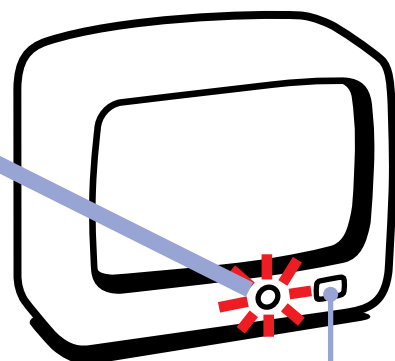
イラストはKV-25SF1、KV-29SF1をつかっています。

テレビ、衛星放送を見る

1

赤いスタンバイ/スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

ついていないときは本体の電源スイッチを押します。



電源スイッチ

2

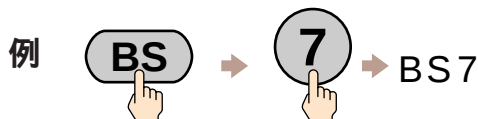
チャンネルを選ぶ。

ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。

衛星放送 (BS) を見るには、数字ボタン⑬～⑮を押します。



チャンネル+/- ボタンを押すと、①～⑮の放送が順に映ります。
衛星放送 (BS) は、BS ボタンを使って見ることもできます。



(BS ボタンを押してから3秒以内に押してください。)

3

音量を調整する。

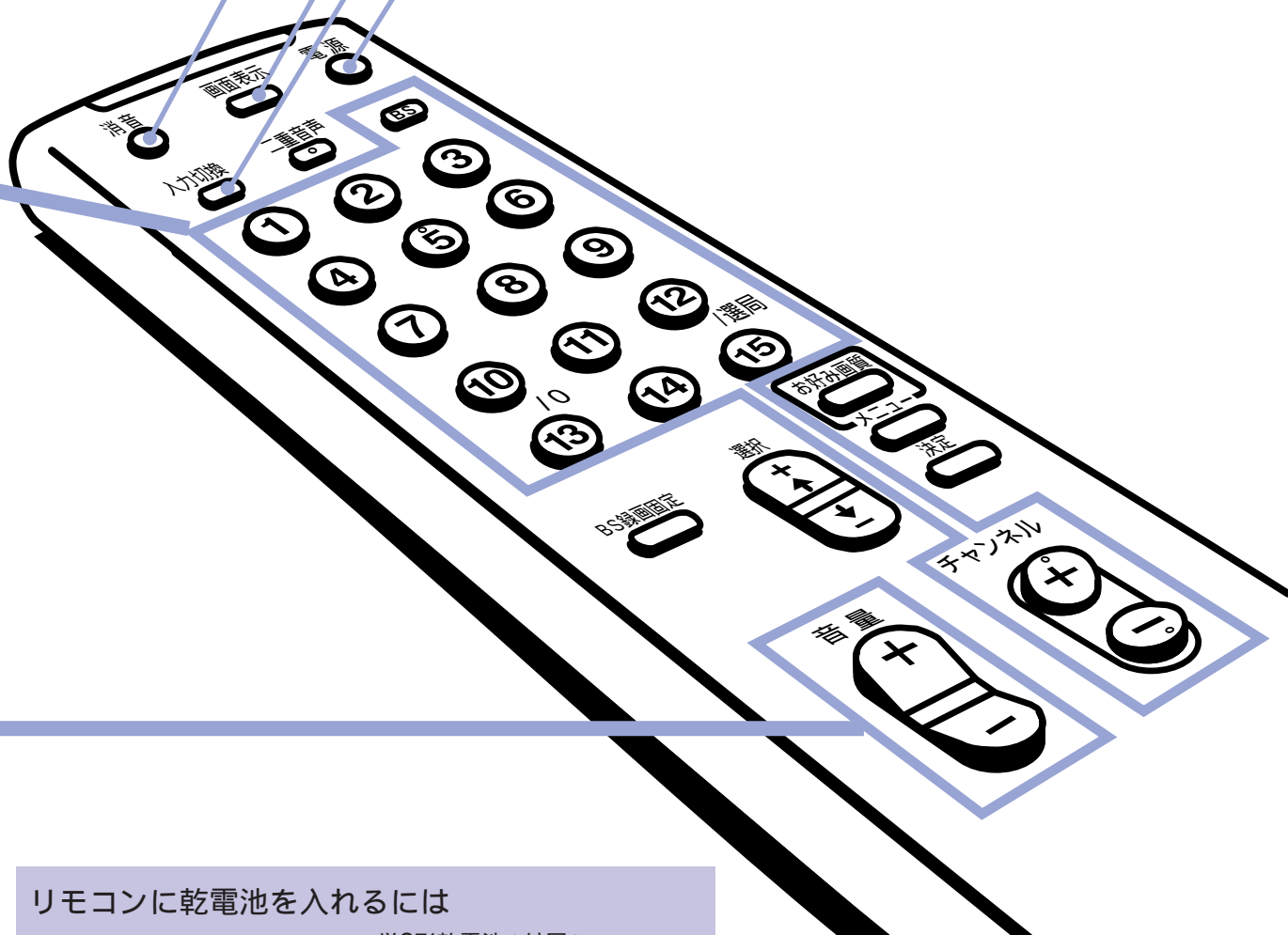
- スタンバイ/スリープランプがついているときは、緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます。
(チャンネルポン機能)
- 省電力のため、放送が終了して約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。
- 有料の衛星放送 (WOWOW など) を見るときは、「有料の衛星放送を見る」をご覧ください(㊦5ページ)。

音を一時的に消す。

チャンネル表示などを出す。

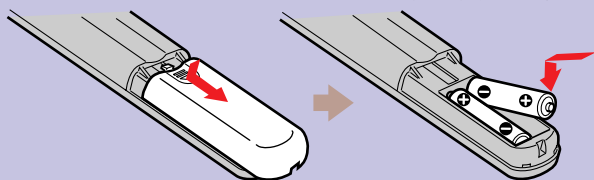
入力を切り換える。

テレビをつける / 消す。



リモコンに乾電池を入れるには

単3形乾電池（付属）
必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。



ビデオなどを見る



1

入力切換ボタンを押してビデオ機器をつないである入力を選ぶ。

押すたびに下記のように切り換わります。

ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → テレビ



ビデオ1

2

ビデオ機器の再生ボタンを押す。

詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+ / - ボタン、入力切換ボタンを押してください。

有料の衛星放送を見る



有料の衛星放送を見るには、BSデコーダー の接続(㊦27 ページ)が必要です。

1

BSデコーダーの電源を入れる。

2

チャンネルボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

(例) WOWOWを見るには



または



独立音声を聞くには

1998年4月現在、独立音声放送 はBS5チャンネル (St.GIGA) でのみ放送されています。(St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。)

- 1 メニューボタンを押してメニューを出す。
- 2 選択 + / - ボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 + / - ボタンを押して「TV / 独立音声」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 + / - ボタンを押して「独立」を選び、決定ボタンを押す。
スクランブル がかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
- 5 メニューボタンを押してメニューを消す。

ご注意

BSデコーダーを接続して有料の衛星放送を見ているとき、音声モードは表示されません。音声モードの切り換えは、デコーダー 側で行ってください。また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。

のついた用語は用語集をご覧ください。㊦37ページ。

16 : 9の画像を見る(ワイドモード)



ご注意

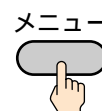
- テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、ワイドモードをお選びください。
- このワイドモード機能を、喫茶店やホテル等で、営利目的、または公衆に視聴させる目的として使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- ワイド映像でない従来の4 : 3の映像を、ワイドモードを利用してご覧になると、画像が一部変形してみえます。
のついた用語は用語集をご覧ください。 37ページ。

MUSE-NTSCコンバーター やワイド対応のビデオカメラ、DVDなど横縦比16 : 9の画像をあらかじめ4 : 3に圧縮して記録した(スクイーズ)画像を元の16 : 9で高密度に見ることができます。

より高画質でご覧になるためにDVDプレーヤーのテレビタイプの設定は「16 : 9」のままにすることをおすすめします。また、MUSE-NTSCコンバーターの設定は「フル」にしてください。

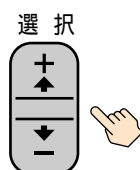
1

メニューボタンを押す。



2

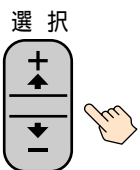
選択 + / - ボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。



各種切換	戻る
▶ 二重音声	
画面表示 :	切
TV / 独立音声	
ワイドモード :	オート
S映像 :	切

3

選択 + / - ボタンを押して「ワイドモード」を選び、決定ボタンを押す。



各種切換	戻る
▶ 二重音声	
画面表示 :	
TV / 独立音声	
ワイドモード :	オート
S映像 :	切

4

選択 + / - ボタンを押して「オート」または「入」または「切」を選ぶ。

「オート」 : S1方式 (S映像入力するとき = ビデオ入力1,2のみ) ID-1方式 (S映像 / 映像入力するとき) の2つの方式を自動的に判別して16 : 9の画像にします。

「入」 : すべての画像を縦方向に圧縮します。

「切」 : そのままの画像になります。

5

メニューボタンを押してメニューを消す。

画質 / 音質を調整する



部屋の明るさや番組に合わせて、4種類の画質 / 音質を選ぶことができます。

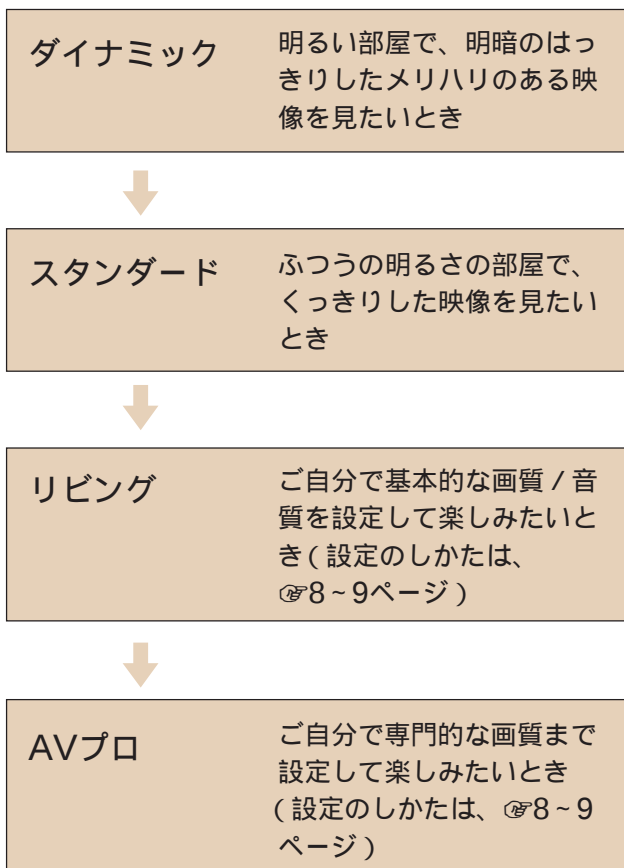
部屋の明るさに合わせて画質を選ぶ

お好み画質ボタンを押す。

お好み画質



押すたびに、画質 / 音質は下記の順に変わります。



ご注意

「ダイナミック」、「スタンダード」での画質 / 音質は調整できません。

通常、ご家庭でご覧になるときは

「リビング」の「画質調整」、「音質調整」を「標準」にしておくことをおすすめします。



画質 / 音質を調整する(つづき)



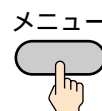
「リビング」、「AVプロ」の画質 / 音質設定について
テレビ、BS、ビデオ1、2、3入力それぞれについて画質 / 音質を設定することができます。

お好みの画質に調整する

「リビング」、「AVプロ」のときは、画質をお好みに合わせて調整し記憶させることができます。

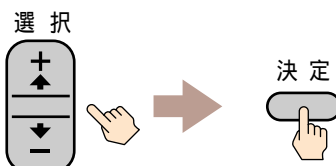
1

メニューボタンを押す。



2

選択 + / - ボタンを押して「画質 / 音質」を選び、決定ボタンを押す。

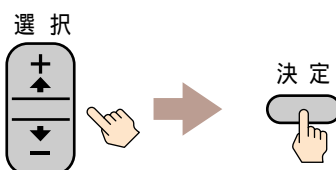


3

選択 + / - ボタンを押して▶を「リビング」または「AVプロ」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

4

選択 + / - ボタンを押して「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。



画質調整 リビング	
戻る	
▶ ピクチャー	
明るさ	
色の濃さ	
色あい	■.....
シャープネス	
標準	

ご注意

手順3で「リビング」または「AVプロ」の画面にしくなくても「画質調整」を選ぶと画質調整画面に切り換わります。「ダイナミック」、「スタンダード」にしていたときは、「リビング」に自動的に切り換わります。

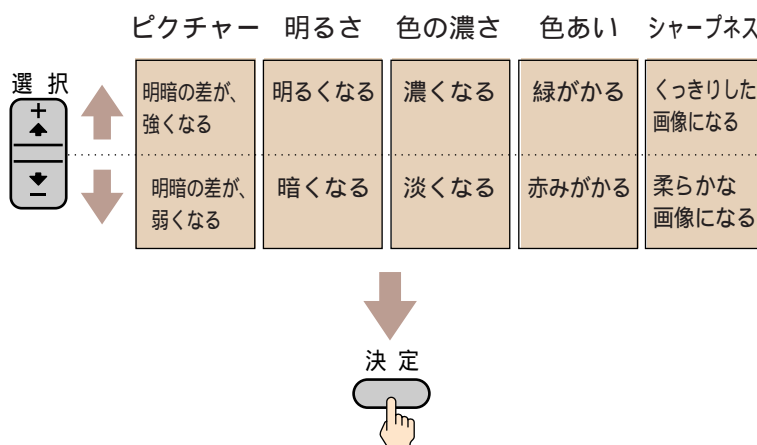
5

選択 + / - ボタンを押して調整する項目に▶を合わせ、決定ボタンを押す。

画質 / 音質を標準 (お買い上げ時) の状態にするにはそれぞれの調整項目の一番下にある「標準」を選び決定ボタンを押します。

6

選択 + / - ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。



ご注意

「AVプロ」で「ピクチャー」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」以外の項目を調整したいときは、選択 - ボタンを押して▶を「標準」の下まで移動させてください。

「AVプロ」のときのみ、さらに次の項目を調整できます。

項目	説明	選択できる位置
ベロシティモジュレーション VM (速度変調)	輪郭を強調します。	強 / 弱 / 切
色温度	「低」を選ぶと、赤みがかった、暖かみのある色調になります。	高 / 低
ハイパー Hホワイト	白色の鮮明さを強調します。	入 / 切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くします。	入 / 切

7

手順5と6を繰り返して、他の項目を調整する。

8

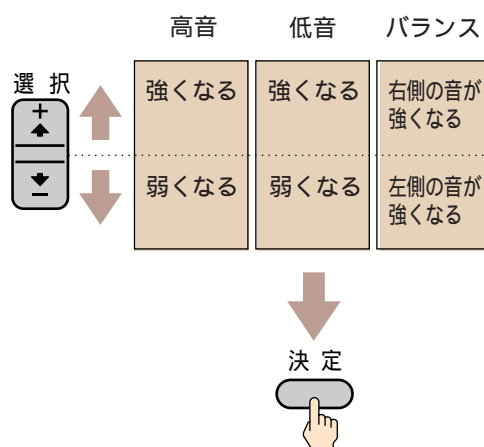
メニューボタンを押してメニューを消す。

画質 / 音質を調整する(つづき)



お好みの音質に調整する

画質と同様、音質もお好みに合わせて調整し、「リビング」、「AVプロ」に記憶させることができます。⑧8ページの手順4で「音質調整」を選ぶと、下記の項目を調整することができます。



ご注意

このとき、「ダイナミック」または「スタンダード」にしていると「リビング」に自動的に切り換わります。

衛星放送を録画する

テレビのBSチューナー を使って、衛星放送をビデオに録画することができます。

この場合、必ず「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。

④31ページ



見ながら録画する

- 1 録画したい衛星放送の番組をテレビに映す。



- 2 ビデオデッキを操作する。
ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（またはライン入力）にし、録画を始めてください。

裏番組を録画するには

テレビ（VHF、UHF、CATV）やビデオを見ながら、衛星放送を録画することができます。このとき、録画している番組を誤って切り換ええないよう、下記の操作を行ってください。

- 1 録画したい番組をテレビに映す。
- 2 BS録画固定ボタンを押す。

BSチューナー部のチャンネルと音声が固定されて、他のBSのチャンネルに切り換わらなくなります。

BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。

BSの他のチャンネルを見るにはBS録画固定ボタンを再度押してください。BS録画固定が解除されます。

ご注意

BS録画固定の操作は衛星放送のチャンネルを選んでいるときにのみできます。

独立音声を録音するには

各種切替メニューから「TV / 独立音声」を選んで「独立」にしてください（④5ページ）。スクランブル 放送のときは、デコーダー 側で独立音声を選んでください。

の付いた用語は用語集をご覧ください。

④37ページ。

衛星放送を録画する(つづき)

予約録画する

48時間以内の番組を簡単に予約録画することができます。

1

録画したい衛星放送のチャンネルをテレビに映す。



2

ビデオデッキで録画を予約する。
ビデオデッキの入力切り換えを外部入力
(ライン入力)にしてください。

3

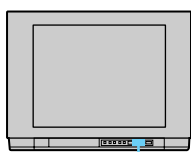
BS録画固定ボタンを押す。

BS録画固定



4

リモコンで電源を切る。



BS電源ランプが点灯したままになります。

ご注意

- テレビ本体の電源スイッチでテレビを消すと録画できなくなります。
- スクランブルのかかった放送を録画するときは、デコーダーの電源を入れたままにしてください。

BS録画固定を解除するには

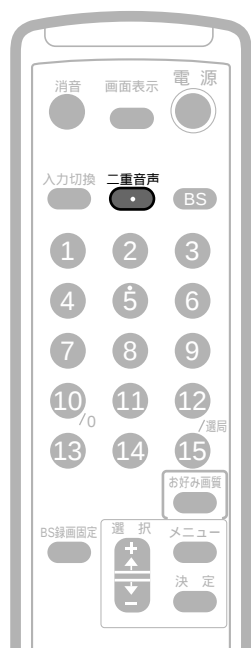
もう一度、リモコンで電源を入れた後衛星放送のチャンネルを選び、BS録画固定ボタンを再度押します。

ご注意

- BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- BS録画固定ボタンを押してから、またはタイマーメニューの「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。

の付いた用語は用語集をご覧ください。㊦37ページ。

音声を切り換える



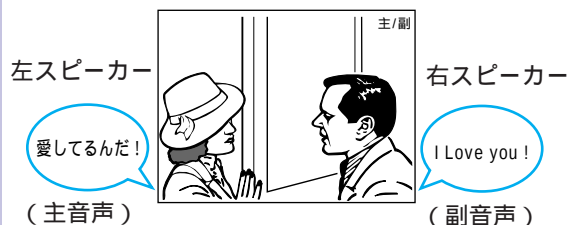
二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声 + 副音声のいずれかを選ぶことができます。

二重音声ボタンを繰り返して押し、選ぶ。

二重音声

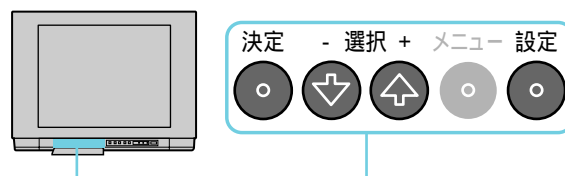


「主 / 副」を選んだとき



VHF / UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

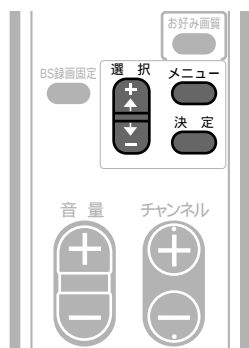
音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。



- 1 本体の設定ボタンを押す。
- 2 選択 + / - ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 + / - ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 + / - ボタンを押して「切」にして決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押す。

「オートステレオ」を「切」にすると、VHF / UHFのすべてのチャンネルの音声がモノラルになります。ステレオでお聞きになるときは「オートステレオ」を「入」に戻してください。

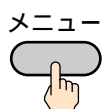
時計を使う



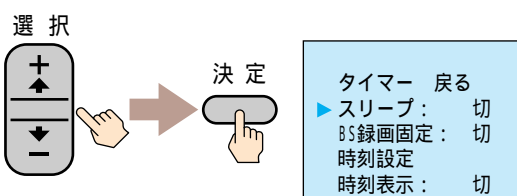
時計を表示する

昼の12時も夜の12時も0:00と表示されます。

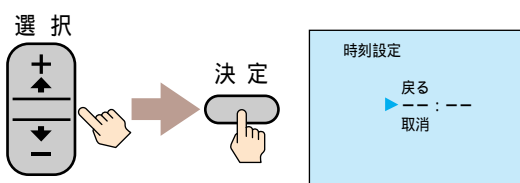
- 1 メニューボタンを押す。



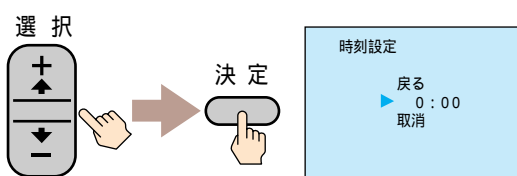
- 2 選択 + / - ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。



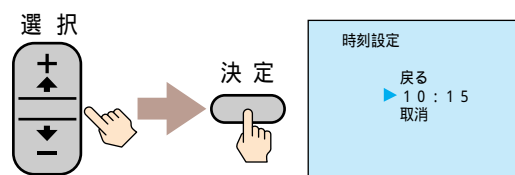
- 3 選択 + / - ボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。



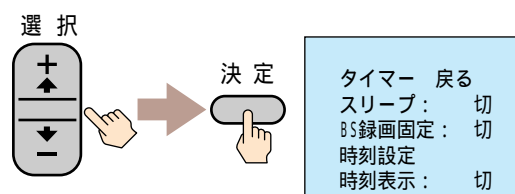
- 4 ▶が - - : - - の横にあることを確認して、決定ボタンを押す。



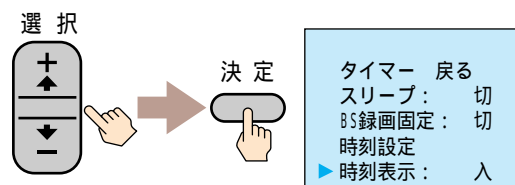
- 5 時刻を設定する。
時→分の順に設定します。選択 + / - ボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。



- 6 選択 + / - ボタンを押して「時刻表示」を選び、決定ボタンを押す。



- 7 選択 + / - ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。

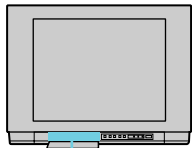


- 8 メニューボタンを押してメニューを消す。
時刻が表示されたままになります。

タイマーで電源を切る
テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば約1時間後にテレビが消えます。

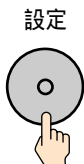
- 1 メニューボタンを押す。
- 2 選択 + / - ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 + / - ボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 + / - ボタンを押して、「入」を選び、決定ボタンを押す。本体のスタンバイ/スリープランプが点灯します。
- 5 メニューボタンを押してメニューを消す。

地磁気による画像の傾きを補正する



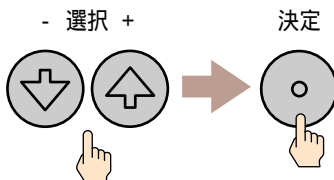
設置後、テレビの向きを決めたら、方角補正をしてください。地磁気の影響がなくなり、よりよい画面をお楽しみいただけます。

1 設定ボタンを押す

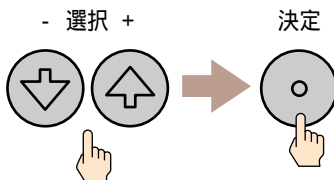


設定 終了
▶ テレビ設定
BS 設定
初期設定

2 選択+ / - ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。



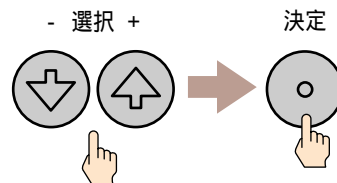
3 選択+ / - ボタンを押して「方角補正」を選び、決定ボタンを押す。



初期設定 戻る
▶ 方角補正: 0
オートステレオ: 入

4

選択+ / - ボタンを押して調整する。画像を見ながら画面内の水平線がいちばん水平になるように調整します。数値は-3 ~ +3の範囲で変わります。



5

設定ボタンを押してメニューを消す。

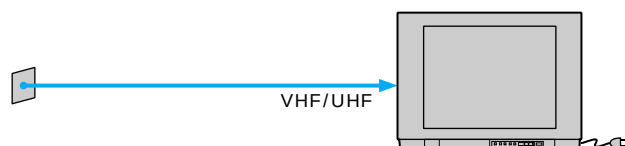
ご注意

- 高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、うまく補正されないことがあります。
- テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーから離して設置してください。

準備早わかり

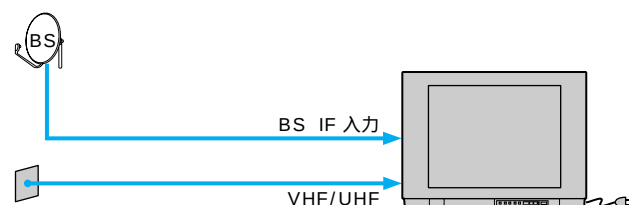
受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。
下の例を参考に準備をしてください。

テレビ



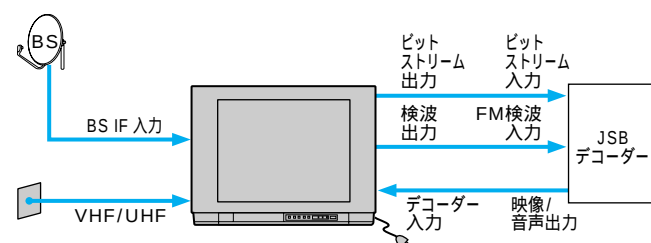
- 1 テレビアンテナをつなぐ④18ページ
- 2 電源をつなぐ
- 3 テレビチャンネルを設定する④20ページ

テレビ + BS (NHK衛星第1、第2)



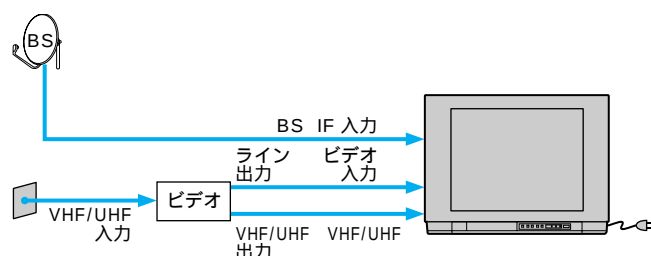
- 1 テレビアンテナをつなぐ④18ページ
- 2 BSアンテナをつなぐ④24ページ
- 3 電源をつなぐ
- 4 テレビチャンネルを設定する④20ページ
- 5 BS受信の設定をする④25ページ

テレビ + 有料BS (WOWOW、St.GIGA)



- 1 テレビアンテナをつなぐ④18ページ
- 2 BSアンテナをつなぐ④24ページ
- 3 JSBデコーダーをつなぐ④27ページ
- 4 電源をつなぐ
- 5 テレビチャンネルを設定する④20ページ
- 6 BS受信の設定をする④25ページ
- 7 BSデコーダーを設定する④27ページ

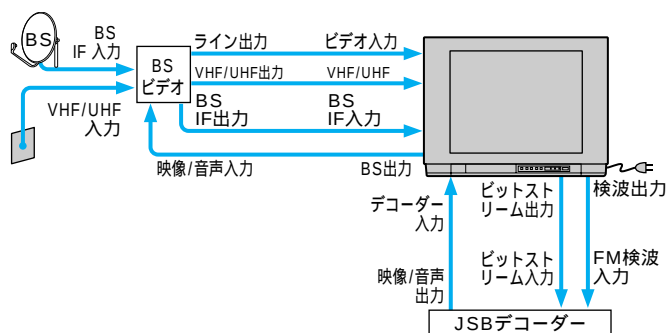
テレビ + BS (NHK衛星第1、第2) + ビデオ



- 1 テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ④18、30ページおよびビデオデッキの取扱説明書
- 2 BSアンテナをテレビにつなぐ④24ページ
- 3 ビデオデッキをテレビにつなぐ④30ページ
- 4 電源をつなぐ
- 5 テレビチャンネルを設定する④20ページ
- 6 BS受信の設定をする④25ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。④31ページ

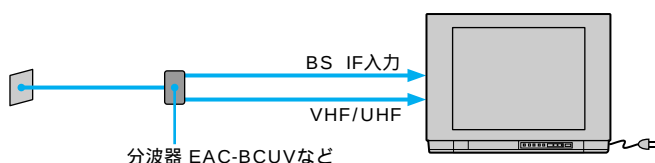
テレビ + 有料BS (WOWOW、St.GIGA) + BSビデオ



- 1 テレビ / BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ㊦18、24、30ページおよびビデオデッキの取扱説明書
- 2 JSBデコーダーをテレビにつなぐ㊦27ページ
- 3 ビデオデッキをテレビにつなぐ㊦30ページ
- 4 電源をつなぐ
- 5 テレビチャンネルを設定する㊦20ページ
- 6 BS受信の設定をする㊦25ページ
- 7 BSデコーダーを設定する㊦27ページ

マンションなどの共同受信システムの場合

マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。



- 1 分波器を使ってテレビ / BSアンテナをつなぐ㊦24ページ
- 2 電源をつなぐ
- 3 テレビチャンネルを設定する㊦20ページ
- 4 BS受信の設定をする㊦25ページ

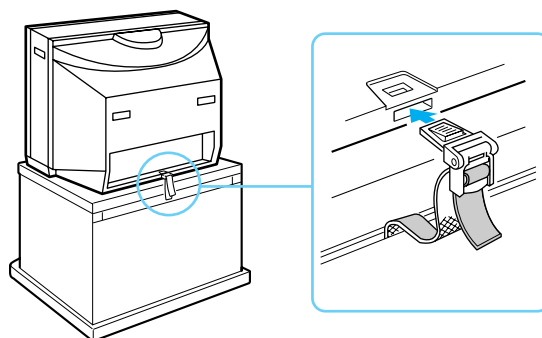
ケーブルテレビの場合

ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビの転倒を防ぐために

お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。下記の別売り品を使用してテレビの転倒を防いでください。

- テレビラック固定ベルト BLT-R10
- テレビラック固定ベルト付属のテレビスタンド
KV-25SF1用、SU-25F、SU-25V
KV-29SF1用、SU-F200、SU-28F1、SU-28V
KV-34SF1用、SU-F300、SU-32F1、SU-32V



テレビは壁から10cm以上離して設置してください

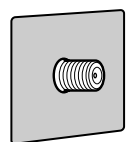
壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

テレビアンテナをつなぐ

アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

アンテナ端子の形

使用するケーブルなど



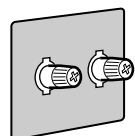
VHF / UHF
または
VHF
または
UHF



同軸ケーブル
EAC-230、250
(別売り) など



アンテナコネクター
(付属)をつなぐ
④次ページ **A**



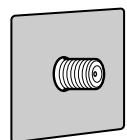
VHF
または
UHF



フィーダー線 (別売り)

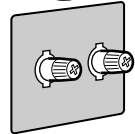


アンテナコネクター
(付属)をつなぐ
④次ページ **B**

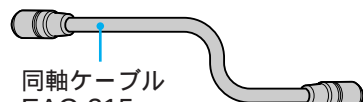


VHF

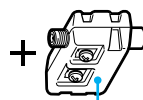
と



UHF



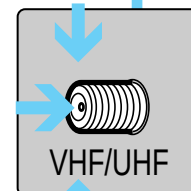
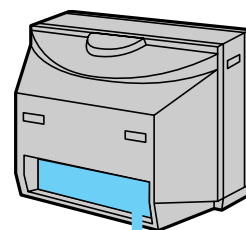
同軸ケーブル
EAC-315
(別売り) など



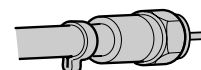
V / Uミキサー (別売り)
をつなぐ ④次ページ **C**



フィーダー線 (別売り)



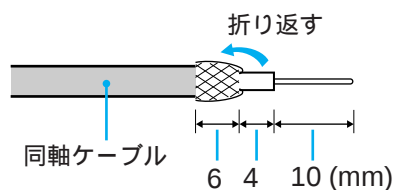
同軸ケーブルの先が
F型コネクターのとき
そのままVHF / UHF端
子につなぎます。



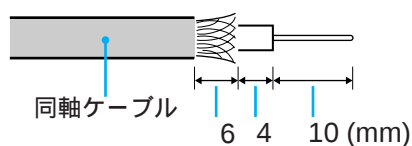
F型コネクター

A 同軸ケーブルにアンテナコネクターをつなぐ

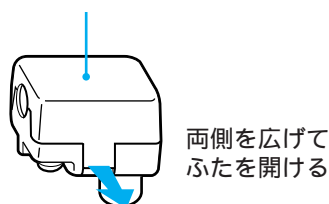
1 3C-2Vの場合



5C-2Vの場合

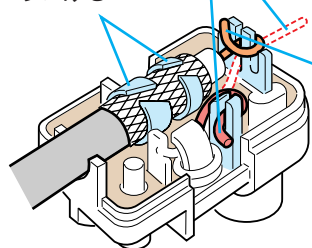


2 アンテナコネクター



3 1 点線部分のリード線ははずしプラスチック部分にはさみ込む

2 同軸ケーブルを差し込みペンチなどで締めつける



3 芯線を端子に巻きつける

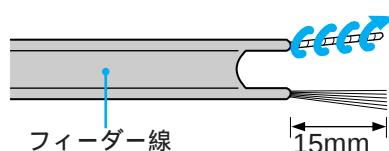
(注) 他の金属部分に接触しないように

4 ふたをしめる

テレビのVHF/UHF端子へ

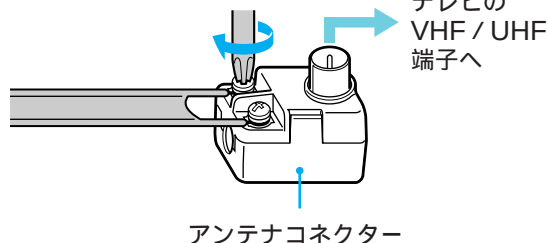
B フィーダー線にアンテナコネクターをつなぐ

1 芯線をよじる



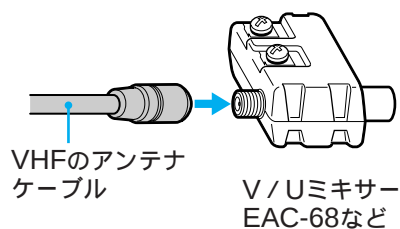
2

ネジをゆるめて芯線を巻きつけ、ネジを締める



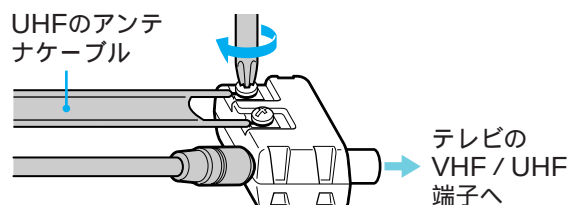
C V/Uミキサーをつなぐ

1



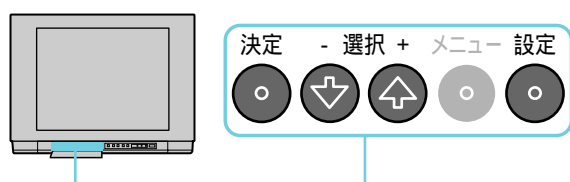
2

ネジをゆるめて芯線を巻きつけ、ネジを締める



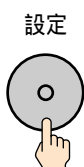
チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF / UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタンに自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑮のボタンにあらかじめ割り当ててありますので設定しなくてもご覧になれます。



1

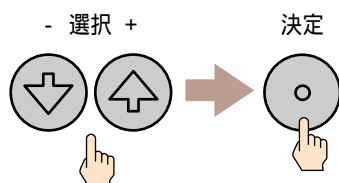
設定ボタンを押す。



設定 終了
▶ テレビ設定
BS 設定
初期設定

2

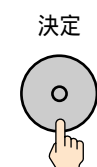
選択 + / - ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。



テレビ設定 戻る
▶ 自動CH設定: 入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド: UHF
選局: ダイレクト

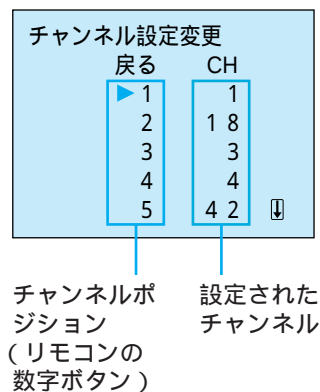
3

「自動CH設定」が選ばれていて、「入」になっていることを確認して決定ボタンを2回押す。



自動的に設定が始まります。

設定が終わると、下の画面に変わります。



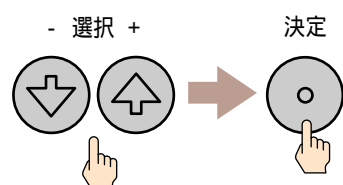
4

設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。

5より大きい番号を確認するには、▶をさらに下まで動かします。

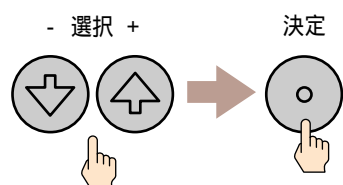
変更するには

1 選択 + / - ボタンを押して変更したい数字(リモコンの数字ボタン)を選び、決定ボタンを押す。



設定されたチャンネルが映ります。

2 選択 + / - ボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。



3 手順1と2をくり返して、他のチャンネルを変更する。

5

設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル設定を中断するには
「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押す。

UHFのチャンネル番号について

地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などで確かめください。

設定されたチャンネルを変更するには

- 1 設定ボタンを押す。
- 2 選択 + ノーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 + ノーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、チャンネルを変更する。
- 5 設定ボタンを押してメニューを消す。

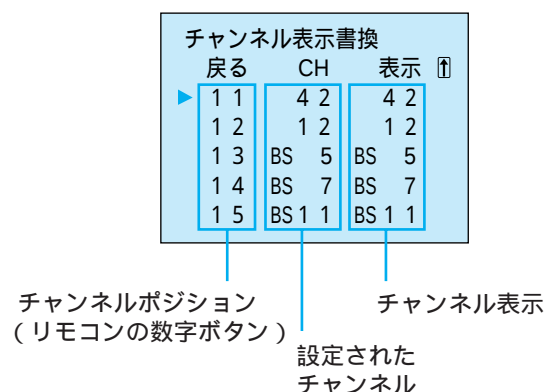
ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

- 1 ダイレクト選局になっていることを確認する。②20ページ。
- 2 設定ボタンを押す。
- 3 選択 + ノーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 + ノーボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 + ノーボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 選択 + ノーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。
ケーブルチャンネルは、表示の前に「C」が付きます。
例：C24
- 8 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

- 1 設定ボタンを押す。
- 2 選択 + ノーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 + ノーボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 + ノーボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
- 6 設定ボタンを押してメニューを消す。

ご注意

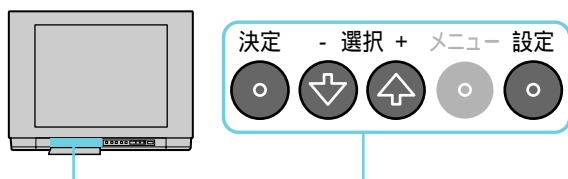
- 複数のチャンネルを一つのチャンネル表示にしたり、一つのチャンネルに複数のチャンネル表示をつけることはできませんが、チャンネルと表示が1対1で対応する表示のつけかたをおすすめします。
- BSのチャンネル表示を変更することはできません。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル + ノーボタンを押したときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定することができます。

- 1 「チャンネルを自動設定する」の手順4の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
- 2 選択 + ノーボタンを押して、「CH」を「0」にする。
- 3 設定ボタンを押してメニューを消す。

10キー選局にする



10キー選局とは

数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります(「ダイレクト選局」)が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせでお好きなチャンネルを選ぶことができます。

例)24チャンネル



10チャンネル



BS7チャンネル



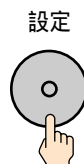
数字ボタンの10と12は以下の働きになります。



10キー選局に切り換える

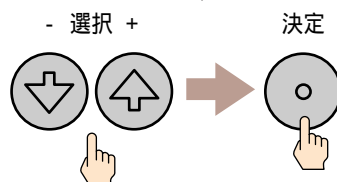
1

設定ボタンを押す。



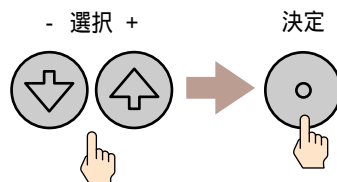
2

選択 + / ー ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。



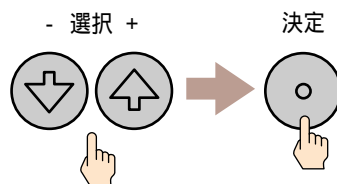
3

選択 + / ー ボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。



4

選択 + / ー ボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。



テレビ設定 戻る
自動CH設定: 入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド: UHF
▶ 選局: 10キー

5

設定ボタンを押してメニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

②22ページの手順4で「ダイレクト」を選んでください。

ご注意

- チャンネルを自動設定するとき(②20ページ)は、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2(②22ページ)の後に下記の操作をした後、手順3以降を行ってください。
 - 1 選択+/- ボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
 - 2 選択+/- ボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
 - 3 ②22ページの手順3以降を行う。

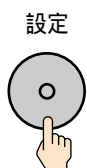
チャンネル+/- ボタンで選べる局を設定する

お買い上げ時はチャンネル+/- ボタンで、1～12チャンネルとBS5、BS7、BS11チャンネルを選ぶことができます。

これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

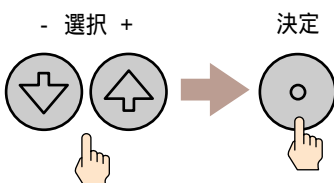
1

設定ボタンを押す。



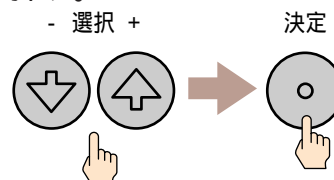
2

選択+/- ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。



3

選択+/- ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



4

見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。

例) 42チャンネルなら

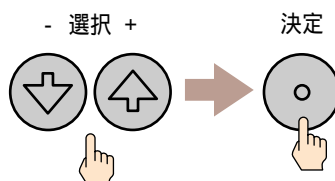


例) BS7チャンネルなら



5

選択+/- ボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選ぶ。



チャンネル設定変更 4 2

戻る
スキップ
▶ ストップ

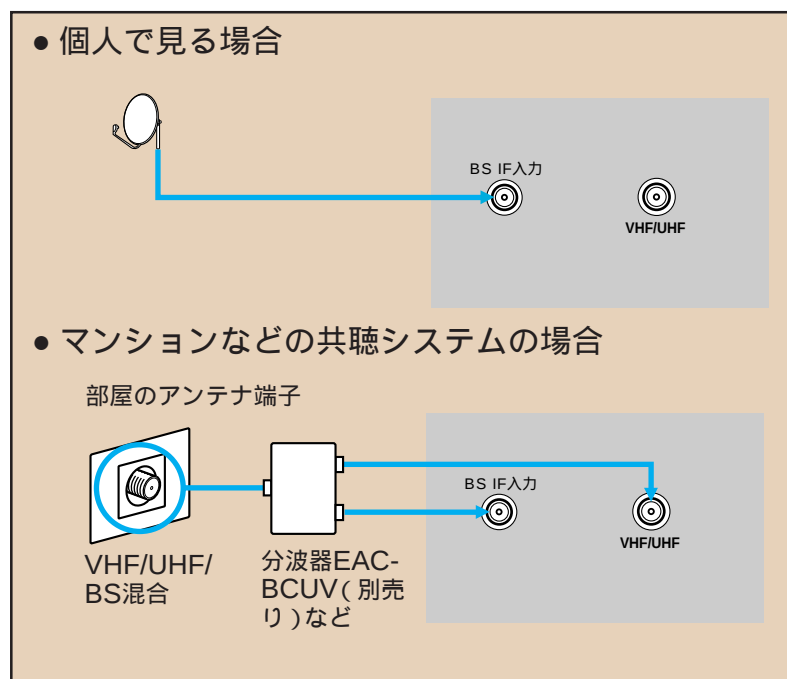
6

複数のチャンネルを設定する場合は、手順4と5を繰り返す。

7

設定ボタンを押してメニューを消す。

BSアンテナをつなぐ

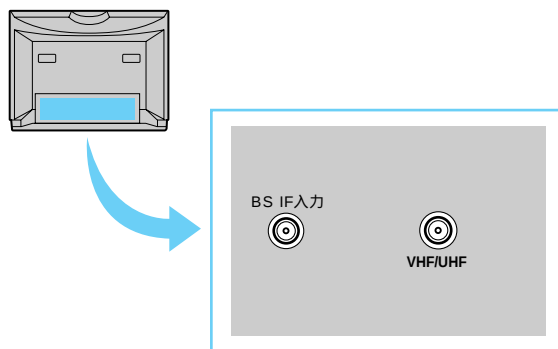


BS受信用の別売り商品

- BSアンテナ
 - SAN-37J2
 - SAN-37K2SET
 - SAN-50HD2
- アンテナ取り付け金具
 - ANJ-K1(壁面タイプ)
 - ANJ-B1(ベランダタイプ)
- BS分配器
 - EAC-BC2
 - EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
 - EAC-BCUV
- BS用ブースター
 - BO-BC20
- 同軸ケーブル
 - SAK-C10 (10m)
 - SAK-C20 (20m)
 - SAK-C30 (30m)

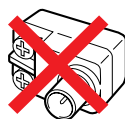
アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。②5ページ

- アンテナをつなぐ端子はテレビ裏面にあります



ご注意

- ケーブル、アンテナコネクタは、BS専用のものをお使いください。
- VHF/UHFのアンテナコネクタは、BS用には使わないでください。



ご注意

BSアンテナケーブルをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。(工具を使うと、端子をいためることがあります。)

受信状態について

次のようなときは、BSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。

- 雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
- アンテナに雪が付着しているとき
- 春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき(食のとき)
- 強風などで、アンテナの向きが変わったとき

②4ページをご覧ください。アンテナを調整してください。

サテライト分配器についてのご注意

サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ(ソニーEAC-BC2またはEAC-BC4など)をお使いください。

サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

BSコンバーター電源についてのご注意

- BS IF入力端子はDC15Vの直流電圧が出ています。VHF、UHFのアンテナは絶対につながらないでください。

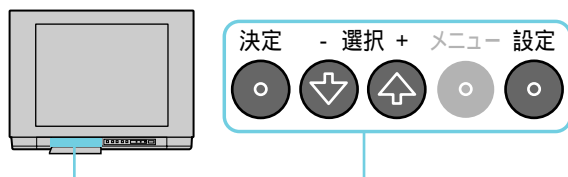
「コンバーター電源を確認してください」という表示が出たら

- マンションなどの共聴システムのときは、本体の設定ボタンを押して、「BS設定」で「BS電源：切」にして、いったんテレビの電源を切ってください。(②5ページ)
- BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐに本体の電源スイッチで電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
- BS IF入力端子につないだ同軸ケーブルの芯線とコネクタ部(周りの金属部分)がショートしないようにご注意ください。

BS受信の設定をする

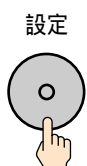
BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「BS設定」をしてください。

BS電源を設定する

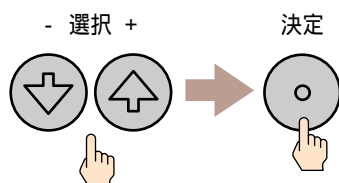


1 BSのチャンネルにする。

2 設定ボタンを押す。

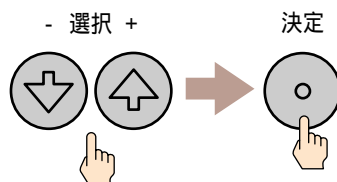


3 選択 + / - ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



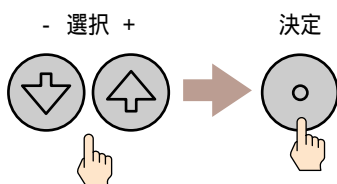
BSのときのみ選択できます。

4 選択 + / - ボタンを押して「BS電源」を選び、決定ボタンを押す。



BS設定 戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ BS電源：オート

5 選択 + / - ボタンを押してアンテナのつながかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。



BS設定 戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ BS電源：連動

設定	内容
●オート	テレビがついているときに、テレビが自動的に判断して、BSコンバーターへ電源を供給します。テレビが切れているときは電源を供給しません。
切	BSコンバーターへ電源を供給しません。マンションなどの共聴システムのとくに選んでください。
連動	テレビがついているときに、つねに、BSコンバーターへ電源を供給します。テレビが切れているときは電源を供給しません。個人のBSアンテナでBSの映像が映ったり消えたりするときに選んでください。

(●は、お買い上げ時の設定を示します。)

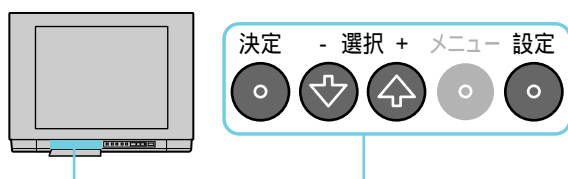
6 設定ボタンを押してメニューを消す。



BS受信の設定をする(つづき)

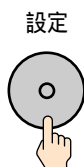
アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。最良の調整ができるように、テレビの画面上的数字や音で確かめられるようになっています。

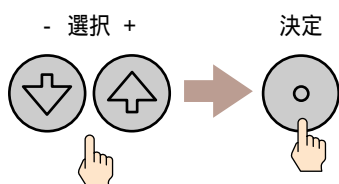


1 放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。

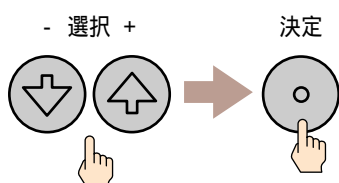
2 設定ボタンを押す。



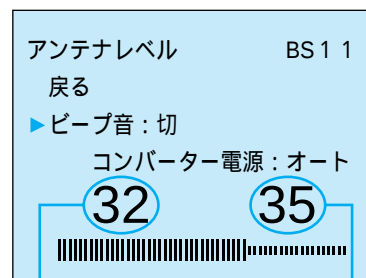
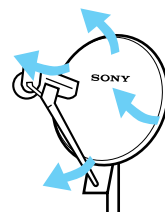
3 選択 + / - ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択 + / - ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。



5 アンテナを調整する。
アンテナレベル の数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。



今入っている
アンテナレベル
(緑色の数字)

最大値
(黄色の数字)

「コンバーター電源」が「切」になっているときは、「BS電源」を「オート」または「連動」に設定してください。㊦25ページ

6 調整が終わったら、設定ボタンを押してメニューを消す。

音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

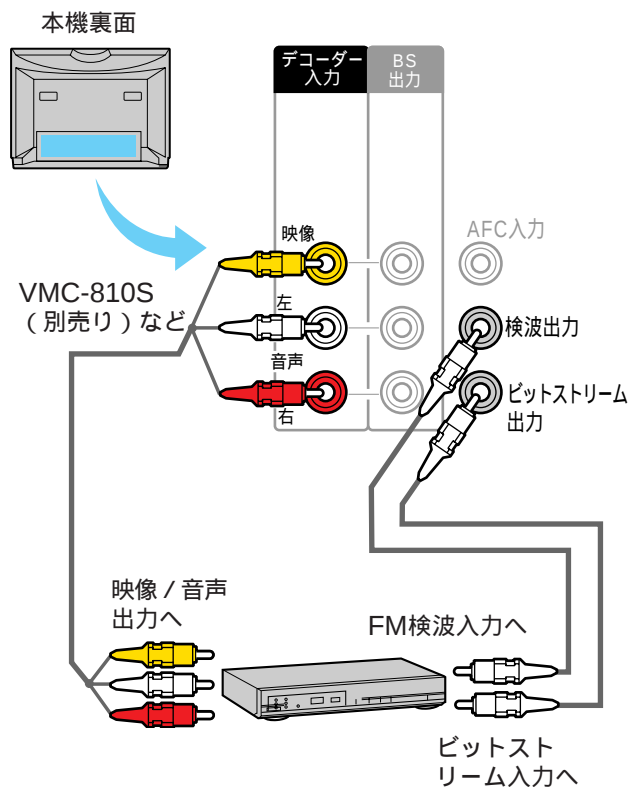
- 1 手順4のあと、選択 + / - ボタンを押して「ピープ音」を選び、決定ボタンを押す。
- 2 選択 + / - ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 手順5で連続した最高音になるようアンテナを調整する。緑色の数値が大きいほど、高音になります。

のついた用語は用語集をご覧ください。㊦37ページ

BSデコーダーをつなぐ

WOWOW、St.GIGAを見るためには、デコーダーをつなぐ必要があります。詳しくは放送会社にお問い合わせください。お買い上げ時は、スクランブルのかかった放送を受信すると、接続したBSデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。(デコーダー入力への自動切り換え機能)

JSBデコーダー (WOWOW/St.GIGA)



デコーダーのスイッチの設定

BSデコーダーの「検波 / 映像」切り換えスイッチを「検波」にしてください。

独立音声放送用デコーダーを接続する場合

デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

ご注意

BSデコーダーは必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

BSデコーダーを設定する

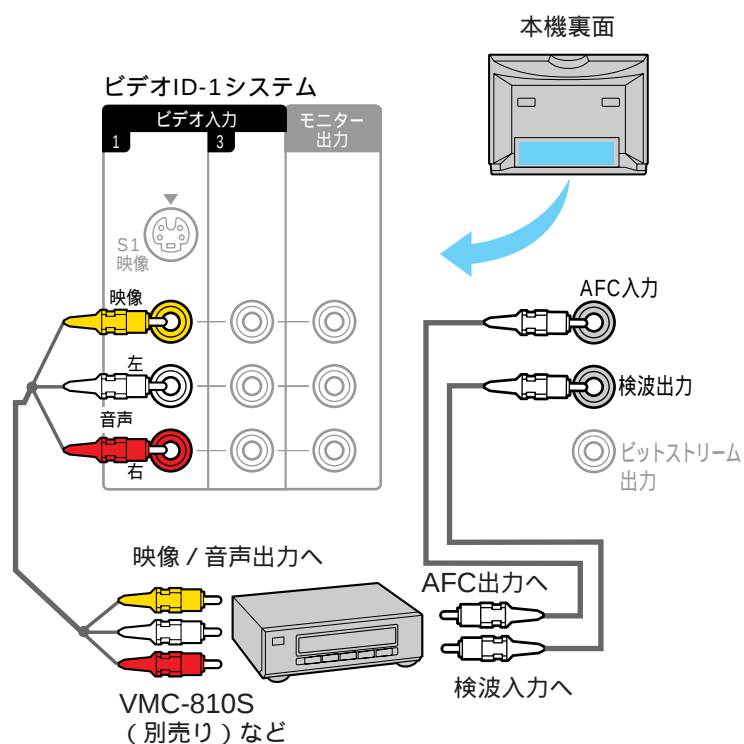
お買い上げ時は、全てのBSチャンネルは「オート」に設定されていますので、設定しなおす必要はありません。MUSE-NTSCコンバーターをつないだときなど、設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。

- 1 BSのチャンネルにする。
 - 2 設定ボタンを押す。
 - 3 選択 + / - ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。
 - 4 選択 + / - ボタンを押して「デコーダー入力切り換え」を選び、決定ボタンを押す。
 - 5 選択 + / - ボタンを押してチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
BS9～15を設定したいときは、▶をBS7より下に移動します。
 - 6 選択 + / - ボタンを押して「テレビ」、「デコーダー」、「オート」の設定の中から選び、決定ボタンを押す。
- | 設定 | 内容 |
|-------|----------------------|
| オート | BSのスクランブルを自動判別 |
| テレビ | 受信した映像・音声をそのまま映す |
| デコーダー | デコーダー入力端子からの映像・音声を映す |
- 7 手順5～6を繰り返して、入力を変えたいチャンネルを1つずつ設定する。
 - 8 設定ボタンを押してメニューを消す。

の付いた用語は用語集をご覧ください。㊦37ページ。

MUSE-NTSCコンバーター (ハイビジョン)をつなぐ

ハイビジョンを見るためには、MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ必要があります。

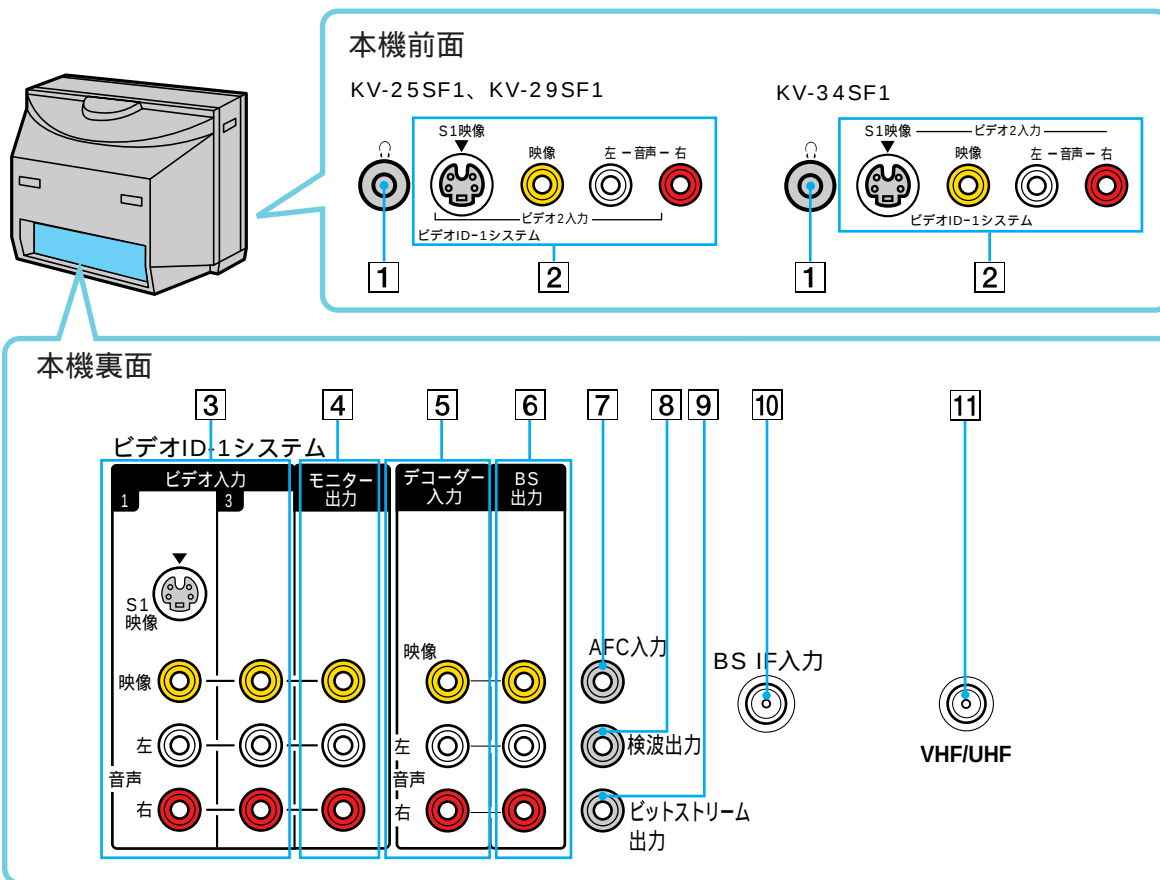


ハイビジョン放送を見るときはハイビジョンのチャンネルにしてからMUSE-NTSCコンバーターを接続した入力(「ビデオ1」または「ビデオ2」、「ビデオ3」)に切り換えてください。

BSデコーダーをつながないときは
ビデオ入力ではなくデコーダー入力端子に接続し、「デコーダー入力切換」で「BS9」の設定を「デコーダー」にしておけば、BS9チャンネルを選ぶだけで見ることができます。この場合、WOWOW(BS5チャンネル)は「デコーダー入力切換」を「テレビ」にしてください。📺27ページ

のついた用語は用語集をご覧ください。👉37ページ

接続端子について



④のページに詳しい説明があります。

- ① ヘッドホン端子
ヘッドホンをつなぎます。
- ② ビデオ2入力 (ID-1) (S1映像 / 映像 / 音声) 端子④32ページ
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。
- ③ ビデオ1、3入力 (ID-1) (S1映像 (ビデオ1入力のみ) / 映像 / 音声) 端子④30、31ページ
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。
つないだ機器からの映像 / 音声を映すことができます。
- ④ モニター出力 (映像 / 音声) 端子④31ページ
ビデオデッキをつなぎます。
映像や音声を記録することができます。
- ⑤ デコーダー入力 (映像 / 音声) 端子④27ページ
BSデコーダーの映像 / 音声出力端子とつなぎます。
- ⑥ BS出力 (映像 / 音声) 端子④31ページ
ビデオデッキなどをつなぎます。受信しているBSの信号が常に出力されています。また、デコーダーが接続されているときは、スクランブ

ルを解除した信号が出力されています。

- ⑦ AFC入力端子④28ページ
MUSE-NTSCコンバーターなどハイビジョン機器のAFC出力端子とつなぎます。
- ⑧ 検波出力端子④27ページ
BSデコーダーのFM検波入力端子とつなぎます。
- ⑨ ビットストリーム出力端子④27ページ
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。また、その他の新放送システムに対応するために用意されています。
- ⑩ BS IF入力端子④24ページ
BSアンテナからのケーブルをつなぎます。(これ以外のものはつながないでください)この端子から、BSコンバーター用電源 (DC15V) を供給することができます。
- ⑪ VHF / UHFアンテナ端子④18、19ページ
VHF / UHFアンテナ、またはケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

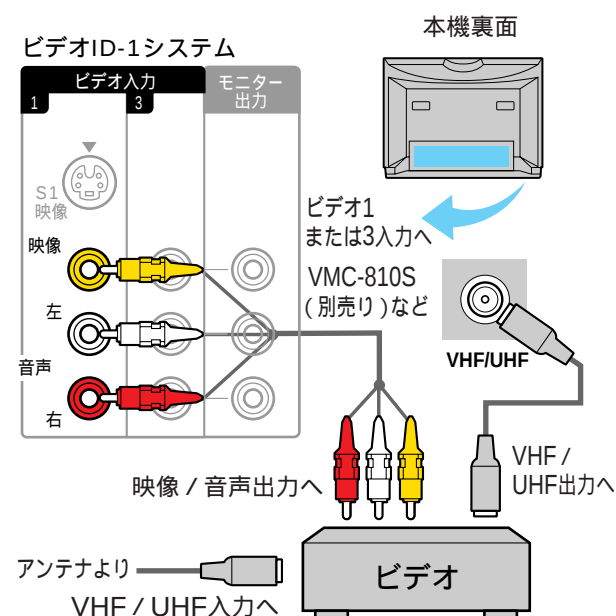
のついた用語は用語集をご覧ください。④37ページ

ビデオデッキをつなぐ

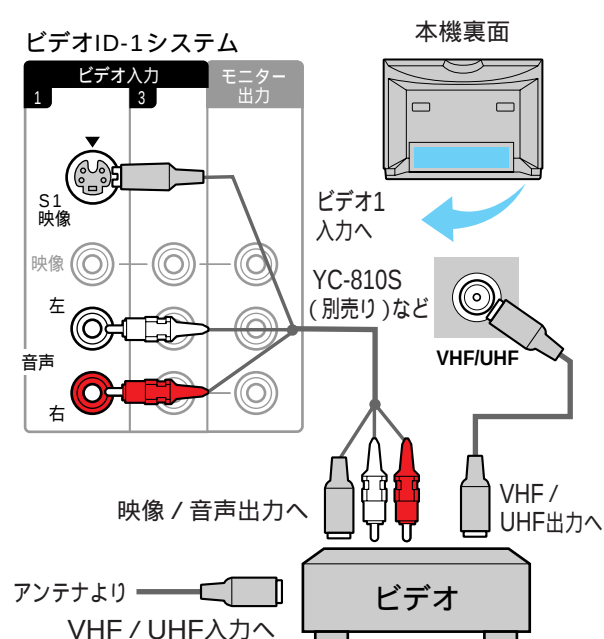
ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」(㊦ 16ページ)およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

基本の接続

S映像端子のないビデオデッキ



S映像端子付きビデオデッキ



S1映像 端子と映像端子の使い分けかた

接続する機器によって、S1映像端子どうしの接続がよいものと、映像端子どうしの方がよいものとがあります。下表を参考にして、よりよい画像でお楽しみください。

接続する機器	おすすめする端子
テレビチューナー BSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ *2 ビデオカメラの再生	S1映像
DVDプレーヤー	S1映像
MUSE-NTSCコンバーター	S1映像
ゲーム機	S1映像
デジタルCSチューナー	S1映像

*1 三次元Y/C分離回路 搭載のレーザーディスクプレーヤーの場合は、接続の違いによる画質の差はほとんど生じません。
再生モードにはデジタルを使わず、ノーマルで再生してください。

*2 TBC(タイムベースコレクター)内蔵のビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も原則としてS1映像端子をおすすめします。

・S映像端子のない機器の場合は、映像端子をお使いください。

S1映像 / 映像の切り換え

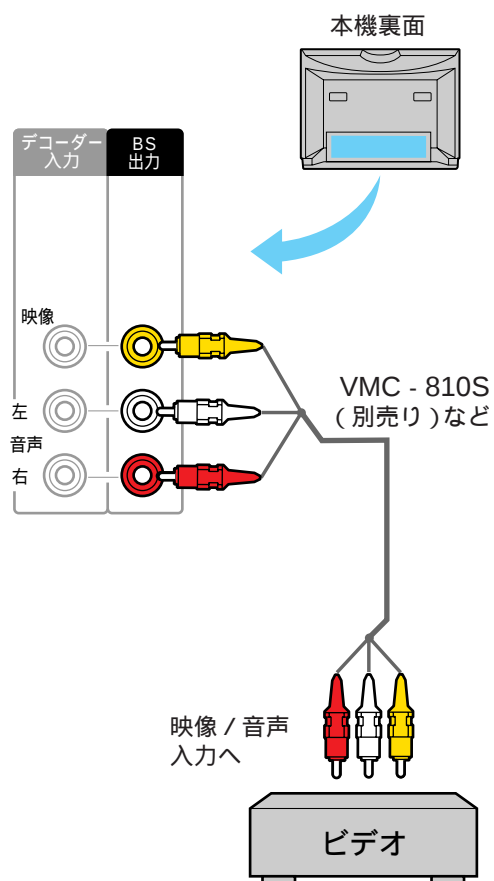
S1映像端子と映像端子を同時に接続すると、S1映像端子につないだ機器の画像が優先されて映ります。映像端子につないだ機器の画像を見るときは、下の手順に従って「S映像」を「切」にしてください。

- 1 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 選択+ / - ボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択+ / - ボタンを押して「S映像」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択+ / - ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 メニューボタンを押してメニューを消す。

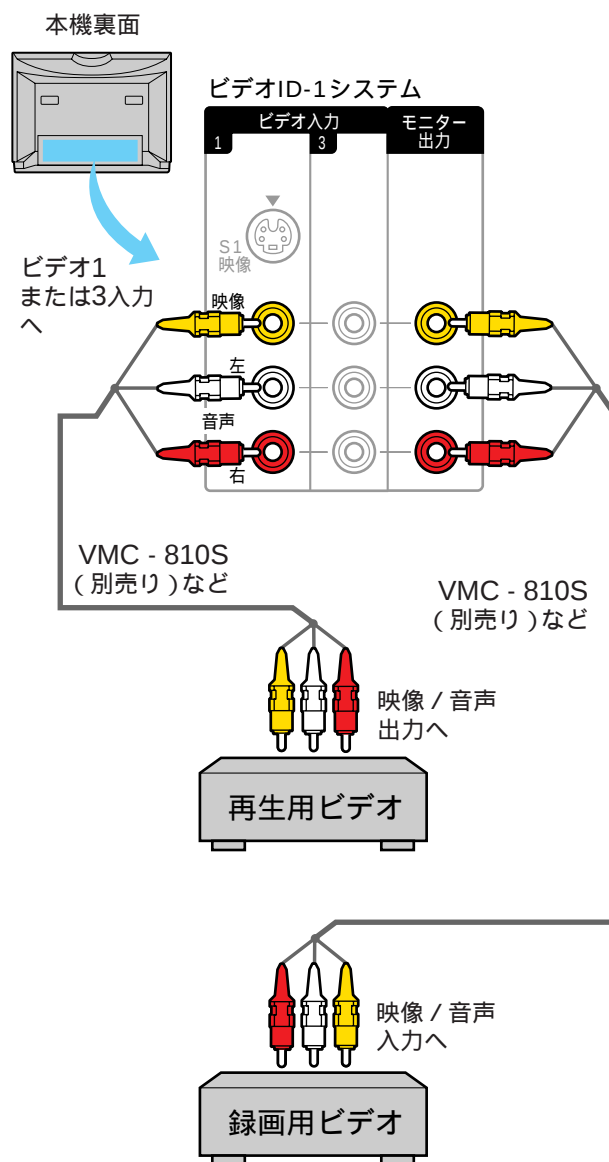
のついた用語は用語集をご覧ください。 ㊦ 37ページ

衛星放送を録画するための接続

テレビのチューナー を使ってBSを録画する場合は、下のようにつないでください。



編集するときの接続



ご注意

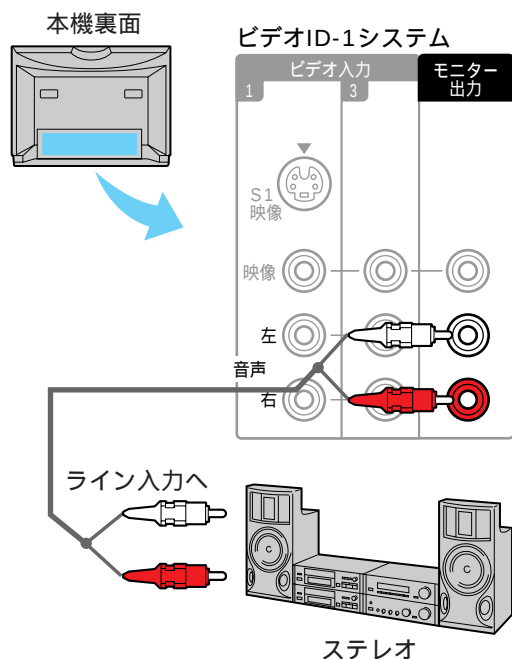
1台のビデオ機器に、本機からの出力と入力の両方の端子を同時に接続しないでください。画像が乱れることがあります。

のついた用語は用語集をご覧ください。㊦ 37ページ

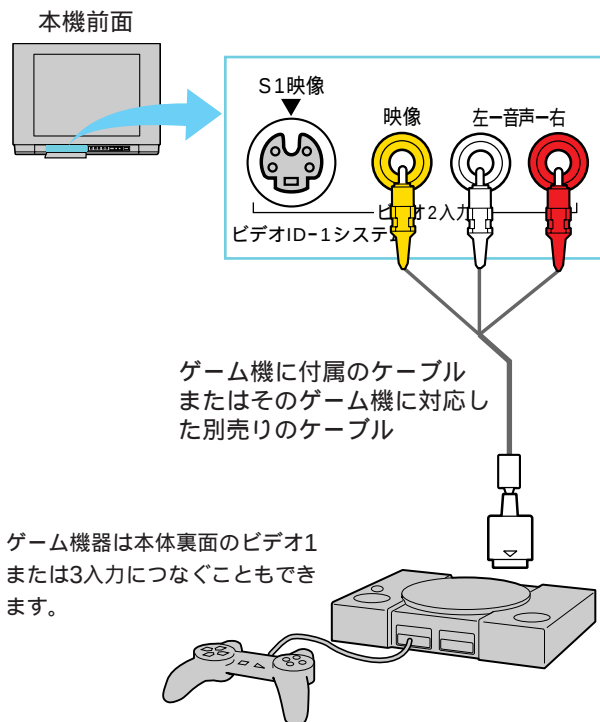
その他の機器をつなぐ

ステレオシステムをつなぐ

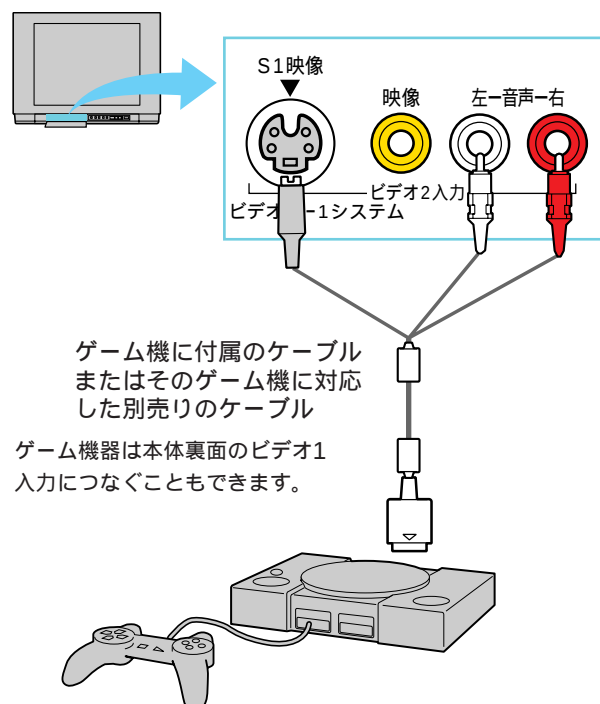
オーディオ機器を接続するには、モニター出力の音声端子を使います。



ゲーム機をつなぐ



S1映像入力端子につなぐには 本機前面



ご注意

ケーブルについて詳しくは、ゲーム機をお買い上げになった
お店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

テレビが映らない／またはスタンバイ／スリープランプが点滅している	■ スタンバイ／スリープランプが点滅していたら、次ページの「自己診断表示」をご覧ください。 ■ 電源コードが外れていませんか？ ■ テレビ本体の電源は入っていますか？
テレビの電源が突然切れた (スタンバイモードになった)	■ 省電力のため、放送が終了して約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示された後、自動的にスタンバイモードになります。 ■ 「スリープ」を「入」にすると約1時間後自動的にテレビが消えます。(㊦14ページ)
画像は出るが、 音が出ない 	■ 音量が下がりがきいていませんか？ ■ 画面に「消音」の表示が出ていませんか？ ■ ヘッドホンをつないでいませんか？
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	■ お好み画質ボタンを押してください。(㊦7ページ) ■ 画質調整ボタンを押して調整してください。(㊦8ページ)
画面の一部に色むらがある	テレビの近くから地磁気を乱すものを遠ざける。 ■ テレビをマンションの鉄骨や金属スタンドなどから離して設置してください。 ■ ビデオやスピーカーなどをテレビから離して設置してください。 テレビの向きを変えたときに発生するときは ■ 地磁気の影響によるものです。一度電源を切り、約30分後に、ご覧になる向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、軽減されます。また、地磁気補正も併せて行ってください。(㊦15ページ)
画像が二重、 三重になる 	■ アンテナ線がはずれかかっていますか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 ■ アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ■ 突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画 面、うすい画面、風 がふくとちらつく 	■ アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ■ アンテナの寿命ではありませんか？通常3～5年、海辺では1～2年です。 ■ アンテナ線がはずれていませんか？
斑点や点模様が走る 	■ ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。
画像が傾く	■ 本体の設定ボタンで「方角補正」を選び調整してください。(㊦15ページ)
特定のチャンネルだけが映らない	■ チャンネルを合わせ直してみてください。(㊦20ページ)
雑音が多い	■ フィーダー線を使用していませんか？ ■ メニューで「オートステレオ：切」にしてください。(㊦13ページ)
リモコンで操作できない	■ 電池が消耗していませんか？ ■ 電池が逆向きに入っていないませんか？ ■ 本体の赤いスタンバイ／スリープランプが点灯していますか？ついていないときは、本体の電源スイッチを押してください。 ■ リモコン受光部との距離が離れすぎたり、角度が大きすぎませんか？ ■ リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっていないですか？離して設置してください。
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	ダイレクト選局の場合(㊦22ページ) ■ ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？ 10キー選局の場合(㊦22ページ) ■ ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？ ■ 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ ■ 最後に続けて⑩／選局を押しましたか？(スタンバイ／スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑩／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。) その他 ■ リモコンの電池が消耗していませんか？

故障かな？と思ったら(つづき)

キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る	■周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。
電源を入れたときにブーンという音がする	■地磁気などの影響を取り除くために動作させる消磁回路の動作音です。故障ではありません。
暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える	■ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。本機の性能その他に影響はありません。
テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする	■テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。
BS(衛星放送)が映らない/乱れている	BSアンテナを直接つないでいる場合 ■本体の設定ボタンを押して「BS設定」で「BS電源：オート」または「BS電源：連動」にしていますか？(㊥25ページ) ■BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？ ■アンテナの大きさは適切ですか？ ■アンテナの前方に障害物はありませんか？ ■アンテナの方向・角度を調整しましたか？(㊥26ページ) BSアンテナに分配器を使っている場合 ■コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？ マンションなどの共聴システムの場合 ■本体の設定ボタンを押して「BS設定」で「BS電源：オート」または「BS電源：切」にしていますか？(㊥25ページ) ■VHF/UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？(㊥24ページ) ■ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ その他 ■放送時間を確認してください。 ■雨や雪が降ると悪くなることがあります。 ■BS専用のケーブルを使っていますか？(㊥24ページ) ■アンテナコネクター(パルーン)を使っていませんか？ ■メニューの「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？(㊥27ページ)
BS(衛星放送)の画像は出るが音が出ない	■スクランブル 放送ではありませんか？
BS(衛星放送)のチャンネルが切り換わらない	■BS録画固定にしていますか？(㊥11ページ)
「コンバーター電源を確認してください」という文字がでたら	■マンションなどの共聴システムのときは、本体の設定ボタンを押して「BS設定」で「BS電源：切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください。(㊥24ページ) ■BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
ビデオを再生したとき画像が出ない	■S映像入力なのに、「S映像：切」にしていますか？(㊥30ページ)
つないだ機器の画像、音が出ない	■接続コードが外れていませんか？ ■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。

のついた用語は用語集をご覧ください。㊥37ページ

自己診断表示 - 画面が消え、スタンバイ / スリープランプが点滅したら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ / スリープランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ / スリープランプが点滅したら、右の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



スタンバイ / スリープランプ

- 1 スタンバイ / スリープランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅...この場合の点滅回数は2回です。
- 2 テレビ本体の電源スイッチを切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご点滅回数をお知らせください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

- ➡ 「故障かな? と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

- ➡ お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

- ➡ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

- ➡ 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-25SF1、29SF1、34SF1

故障の状態：できるだけ詳しく

購入年月日：

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1～12チャンネル UHF 13～62チャンネル CATV C13～C35 (ケーブルテレビ放送会社との 契約手続きが必要)
ブラウン管*	BS1、3、5、7、9、11、13、15 FDトリニトロン、 KV-25SF1：104度偏向25型 KV-29SF1：104度偏向29型 KV-34SF1：105度偏向34型
* テレビの型(25型など)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン 管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。	
画面寸法	KV-25SF1：47.8×35.8、59.7cm (幅×高さ、対角径) KV-29SF1：54×40.5、67.5cm (幅×高さ、対角径) KV-34SF1：64×48、80cm (幅×高さ、対角径)
使用スピーカー	ウーファー 10cm×2 ミッドハイレンジスピーカー KV-25SF1：(4×10cm 楕円)×2 KV-29SF1、KV-34SF1：(5×9cm 楕円)×2
音声出力	実用最大：KV-25SF1、KV-29SF1：5W×2(EIAJ) KV-34SF1：7W×2(EIAJ)

入出力端子

アンテナ端子	VHF / UHF、BS IF 75Ω F型コネクター (コンバーター用電源出力、DC15V最大4W)
ビデオ1、2、3入力端子	S1映像(ビデオ1、2入力のみ)：4ピンミニDIN Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 C：0.286Vp-p(パースト信号)、75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 47kΩ
モニター出力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、 500mVrms、インピーダンス 5kΩ以下
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス16Ω以上
BS出力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、標準出力レ ベル 250mVrms(FS-18dB時)、出力 インピーダンス 5kΩ以下
検波出力端子	ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子	映像：ピンジャック、1Vp-p、 75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力 250mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AFC入力端子	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p

電源部・その他

消費電力	KV-25SF1：138W(リモコン待機時0.8W) KV-29SF1：147W(リモコン待機時0.4W) KV-34SF1：170W(リモコン待機時0.4W)
年間消費電力量**	KV-25SF1：179 kW・h / 年 KV-29SF1：180 kW・h / 年 KV-34SF1：210 kW・h / 年
* ** 年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信 機の種類の別算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4～5時 間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。	
最大外形寸法	KV-25SF1：64.8×50.8×47.5cm (幅×高さ×奥行き) KV-29SF1：74.6×56.9×52.6cm (幅×高さ×奥行き) KV-34SF1：87.1×66.7×57.6cm (幅×高さ×奥行き)
質量	KV-25SF1：約39.5kg KV-29SF1：約49.8kg KV-34SF1：約79.9kg
電源	AC100V、50/60Hz
付属品	リモートコマンダー RM-J222(1) 乾電池 単3型(2) アンテナコネクター(1) 取扱説明書(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 安全のために(1) 安全点検のおすすめ(1)

別売りアクセサリ

テレビスタンド	KV-25SF1用、SU-25F SU-25V KV-29SF1用、SU-F200 SU-28F1 SU-28V KV-34SF1用、SU-F300 SU-32F1 SU-32V
ステレオヘッドホン	MDR-AV55
テレビラック固定ベルト	BLT-R10

BSアンテナなど
接続ケーブルなど

- ・本機は「高調波ガイドライン適合品」です。
「高調波ガイドライン適合品」とは、通商産業省・資源エネルギー庁
の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用
電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品で
す。
- ・このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国で
はお使いになれません。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、
ご了承ください。

用語集

五十音順

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けます。

検波

衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

三次元Y/C分離回路

本機内部にある回路で、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて(暗号化して)送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器(デコーダーなど)が必要です。

チューナー

電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デコーダー

スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

独立音声放送

BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送が送られている場合があります。これが独立音声放送です。

ハイビジョン実用化試験放送

1998年4月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。ハイビジョン放送を見るためには、MUSE-NTSCコンバーターが必要です。

ビットストリーム

衛星放送の電波で送られてくるデジタル信号です。音声とデータがデジタル化されています。

ビスタサイズ

映像ソフト画面の縦横比が1:1.85になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

偏波

衛星放送の電波の流れの型です。BSは円偏波です。

アルファベット順

Aモード

BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送なみです。4チャンネルのうち2チャンネルを使って独立音声が発送されることがあります。サンプリング周波数: 32kHz
量子化: 14/10ビット 準瞬時圧伸方式

Bモード

BSで送信される音声の種類のひとつ。CDなみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われています。サンプリング周波数: 48kHz
量子化: 16ビット 直線量子化

FDトリニオン管

従来のトリニオン管に比べて、垂直方向に加え、水平方向にもフラットになった新しいトリニオン管です。画像や文字情報を、画面の中央から画面の端まで、ゆがみのより少ない自然な映像でお楽しみいただけます。

ID-1方式(ビデオID-1システム)

ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1~3入力端子(ビデオID-1システム対応端子)につなぐと、ID-1方式の映像となります。ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

MUSE

ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

MUSE-NTSCコンバーター

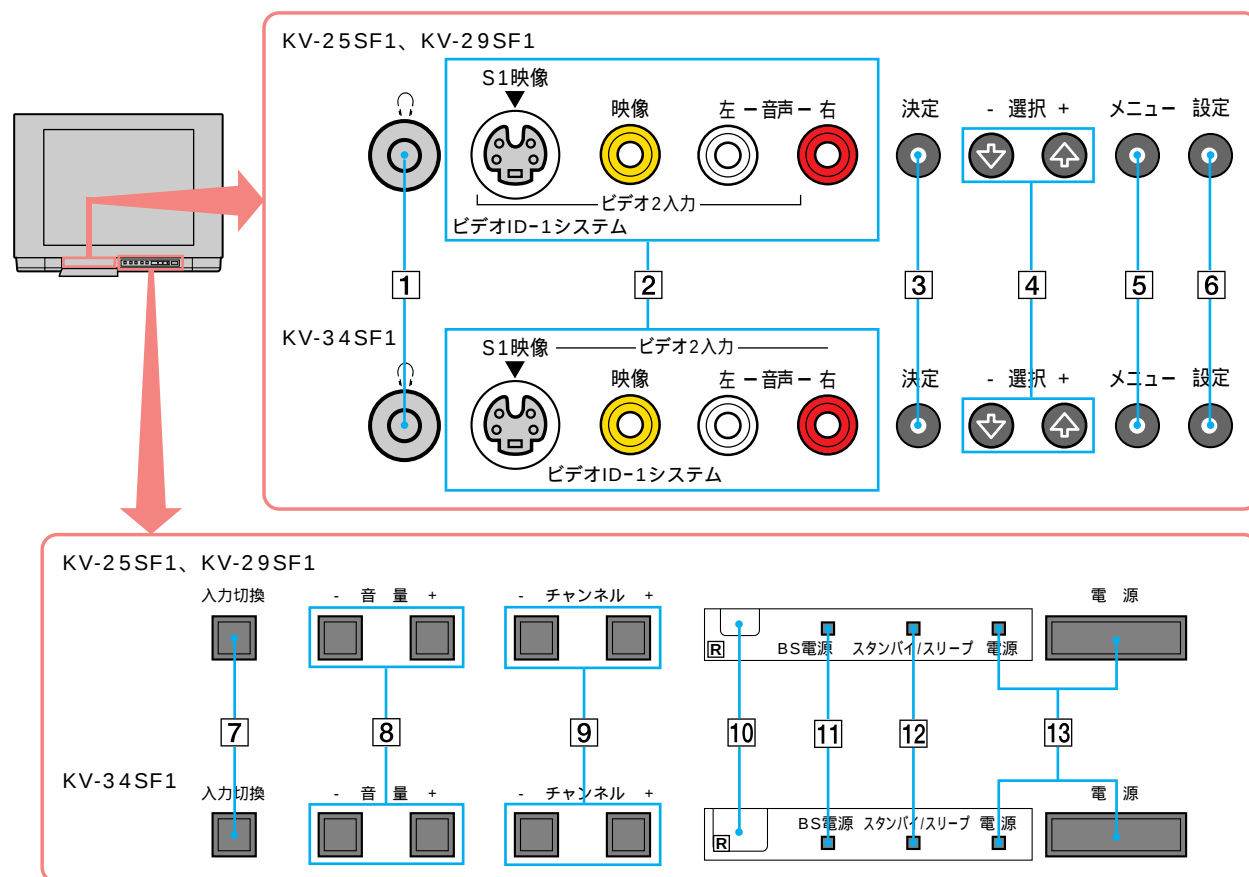
MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式(NTSC)に変換するための機器です。画質は現行放送方式(NTSC)と同等になります。

S1方式(S1映像)

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の縦横比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。S-1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、前面パネルのビデオ2入力端子など、本機のS1映像入力端子にS映像ケーブルを使ってつなぐと、S-1方式の映像となります。ただし、あらかじめ、ビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前 / Identification of controls

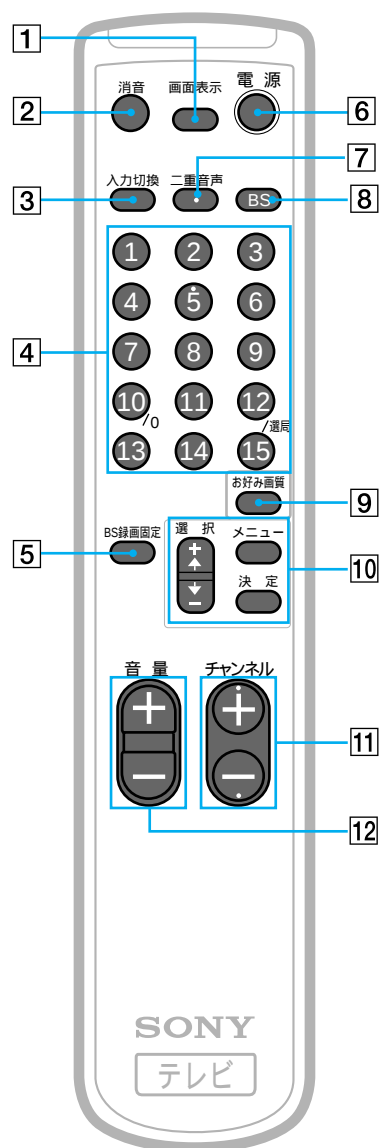
本体前面 / TV Front Panel



- ① ヘッドホン端子
- ② ビデオ2入力端子 ③2ページ
S1映像端子
映像端子
音声(左)端子
音声(右)端子
- ③ 決定ボタン
- ④ 選択+/-ボタン
- ⑤ メニューボタン
- ⑥ 設定ボタン ④20ページ
- ⑦ 入力切換ボタン
- ⑧ 音量+/-ボタン ④2ページ
- ⑨ チャンネル+/-ボタン ④2ページ
- ⑩ リモコン受光部
- ⑪ BS電源ランプ ④12ページ
- ⑫ スタンバイ/スリープランプ ④2、34ページ
- ⑬ 電源スイッチ/ランプ ④2ページ

- ① Headphones jack
- ② VIDEO 2 input jacks page 32
S1 -Video jack
Video in jack
Audio-L jack
Audio-R jack
- ③ Enter button
- ④ Select +/- buttons
- ⑤ Menu button
- ⑥ Preset button page 20
- ⑦ Input Select button
- ⑧ Volume +/- buttons page 2
- ⑨ Channel +/- buttons page 2
- ⑩ Remote Control sensor
- ⑪ BS (Broadcast Satellite) Power indicator
page 12
- ⑫ Standby/Sleep indicator pages 2, 34
- ⑬ Power switch/indicator page 2

リモコン / Remote Control



- 1 画面表示ボタン ④3ページ
- 2 消音ボタン ④3ページ
- 3 入力切換ボタン ④3ページ
- 4 チャンネル数字ボタン ④2、5ページ
- 5 BS録画固定ボタン ④11ページ
- 6 電源スイッチ ④3ページ
- 7 二重音声ボタン ④13ページ
- 8 BSボタン ④2、5ページ
- 9 お好み画質ボタン ④7ページ
- 10 メニューボタン ④6ページ
選択 + / - ボタン ④6ページ
決定ボタン ④6ページ
- 11 チャンネル + / - ボタン ④2ページ
- 12 音量 + / - ボタン ④2ページ

- 1 Display button page 3
- 2 Muting button page 3
- 3 Input Select button page 3
- 4 Channel Number buttons page 2、5
- 5 BS Recording button page 11
- 6 Power switch page 3
- 7 Audio Mode (Bilingual) button page 13
- 8 BS (Broadcasting Satellite) button
pages 2、5
- 9 Favorite Picture Type button page 7
- 10 Menu button page 6
Select +/- buttons page 6
Enter button page 6
- 11 Channel +/- buttons page 2
- 12 Volume +/- buttons page 2

索引

五十音順

あ行

アンテナ	
コネクター	18 ~ 19
BSアンテナの接続	24
BSアンテナレベル	26
VHF/UHFアンテナの	
接続	18 ~ 19
衛星放送	2、5、11

さ行

時刻	
設定	14
表示	14
自己診断表示	34
主音声	13
消音	3
スクランブル	5
接続	
オーディオ機器	32
ゲーム	32
ビデオ機器	30 ~ 31
BSアンテナ	20
BSデコーダー	27
VHF/UHFアンテナ	18 ~ 19
設定	
S映像切り換え	30
選局方法	22
チャンネル	20 ~ 23
デコーダー入力切り換え	27

た行

ダイレクト選局	22
---------	----

チャンネル

合わせる（設定）	20 ~ 23
合わせ直す	23
表示を書き換える	21

調整

音質	10
画質	7 ~ 9
方角補正	15
同軸ケーブル	18 ~ 19
独立音声放送	5
BSアンテナレベル	26

な行

二重音声	13
------	----

は行

ハイビジョン	
MUSE-NTSCコンバーター	28
ビデオ	
接続	30 ~ 31
見る	4
フィーダー線	18 ~ 19
副音声	13

や行

有料衛星放送	5
--------	---

ら行

リモコン	
電池を入れる	3
リモコン各部の	
名前と働き	39

わ行

ワイドモード	6
--------	---

数字・アルファベット順

数字

10キー選局	22 ~ 23
--------	---------

アルファベット

BS	
裏録画する	11
BS録画固定	12
見る	2、5
録画のための接続	31
BSアンテナ	
接続	24
調整	26
BSデコーダー	
接続	27
入力切り換え	27
CATV	21
MUSE-NTSCコンバーター	28
S映像切り換え	30
VHF	
チャンネル設定	20 ~ 23
見る	2 ~ 3
VHF/UHFアンテナ	18 ~ 19
V/Uミキサー	18 ~ 19

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111